

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	家族との関わりについて職員が介入していくことは無く、面会が少ない、来所しても本人と会わず帰る方もいる。	ご家族や馴染みの方との面会回数、面会時間が増える。	①2ヶ月に1回以上は休日の行事時等を行い、ご家族等が参加していただきやすいよう配慮する。 ②面会時には本人と過ごしていただける場所を提供し、話題提供も含め職員が同席する。 ③ご家族との外出を促し馴染みの場所へ出かける(6ヶ月に1回以上)。 ④ご家族と外出できない方は職員と一緒に馴染みの場所へ出かける(6ヶ月に1回以上)。	12ヶ月
2	60	日常的に外出はしているが、ADL状態が良い方が中心となっている。	入居者全員が外出を楽しみ、行きたいところへいく。	①家族等へ好きな場所、行きたい場所の聞き取りを行い、毎週実施しているドライブを利用し、一人ずつ行きたい場所へ行く(6ヶ月に1回以上)。	6ヶ月
3	35	年2回の防災訓練を行い地域住民との協力体制は築けているが、地域の方が具体的に何を行うかなどが曖昧であり、消耗品の備蓄が少ない。	①災害時の地域住民の役割分担を明確にする。 ②消耗品の備蓄を確保する。	①次回防災訓練時(H27.1月)に役割分担を明確にした手順を確定する。 ②オムツ、パット類等の必要消耗品リストを作成し一週間分は確保する。	6ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。